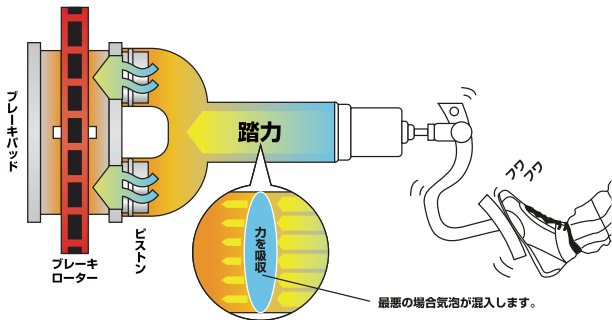


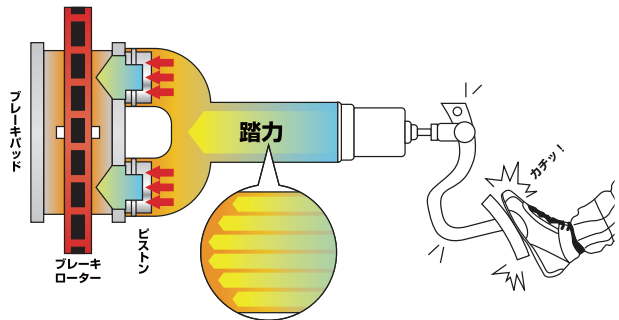
# 耐フェード性だけではない！ ブレーキペダルタッチに差が出る

## ■一般的なブレーキフルード



一般的なブレーキフルードでは、サーキット走行時などに高温高負荷をかける事により、ローターとパッドの摩擦熱がフルードに伝わり最悪の場合フルードが沸騰状態になり気泡が発生します。フルード内に気泡が混入することにより、踏力の圧力を吸収してしまい、ブレーキタッチが不安定になり効きにも影響します。

## ■IDI BF338



『IDI BF338』は極限域でのパフォーマンスを重視し、あえて低温域性能を犠牲にすることで高温域での粘度低下を防ぎます。これによりブレーキに厳しいサーキット走行などでも、確かなブレーキタッチを確保し、ブレーキパフォーマンスを100%発揮させます。

High Performance Brake Fluid

# BF338



高温時の安定したブレーキタッチと耐久性にこだわったブレーキフルード  
ブレーキパッドの性能評価を行う際、高温時のフルード性能維持が大きな課題です。ブレーキフルードの性能変化によりブレーキパッドの性能評価が難しくなります。そこで誕生したのが「BF338」です。

BF338 は高温時の初期ブレーキタッチを維持するフルード特性を追求し、より安定した高温維持性能をもつブレーキフルードを実現しています。さらに、高温性能にでありながら通常のブレーキフルード同様のメンテナンス性を確保し、ゴム・パッキン・シール材等への攻撃性を考慮し、長期のストリート使用にも耐える設計となっています。

※-10℃以下の環境では流動性能が規格から外れるため、本商品は DOT 規格外となります。

¥2,600/500ml( 税抜 )

**ドライ沸点 338℃**

**ウェット沸点 242℃**

注意：他社のブレーキフルードと混合しないでください。

## なぜ『DOT規格外』なのか？

	沸点		引火点	動粘度 (Cst)	
	ドライ	ウェット		マイナス40℃	100℃
JIS BF-4 (DOT4相当品) 規格	230℃以上	180℃以上	100℃以上	1800以下	1.5以上
IDI BF338	338℃	242℃※	189℃	2420	2.5

主原料：ホウ酸エステル

※：3.5wt%水分（普通乗用車でブレーキ液を6ヶ月～1年後に自然吸湿する水分の量）

左記の表のように「DOT4規格」の-40℃時の動粘度の項目が、BF-338では、規格外となります。

理由として、極高温域での性能を安定させるため、極低温性能をあえて犠牲にし、リニアなブレーキタッチを実現するため、ある一定の粘度を持たせました。このような理由から、外気温-10℃以下での使用を避けてください。

なお、金属腐食性・ゴム膨潤性・耐水性等の試験項目は、JIS BF-4 (DOT4相当品) 規格をクリアしております。

また、ブレーキフルードの特性上、保管状態により性能が、著しく低下する場合があります。常にいい状態で使用していただくため、500ml容器としました。

有限会社 アイ・ディ・アイ 〒196-0004 東京都昭島市緑町2-13-18

●商品に関するお問い合わせは TEL:042-549-0050 FAX:042-549-0051 受付時間 9:00~18:00 (月~金:当社休日を除く)

弊社ホームページ <https://idijp.com/>